つくしだより　2026 年 8 月号より

ある夏の一場面

＜今月の聖句＞　「無垢であろうと努め、まっすぐに見ようとせよ。
平和な人には未来がある。」
（詩編３７編３７節）

８月。静かな園庭には、強い光だけが降り注いでいます。
先週、雨上がり、涼しい日が一日だけありました。
久しぶりに子どもたちの歓声がこだましました。
どの子も嬉しそうで、はつらつとした笑顔。
まっさきに手に取ったのは、虫取り網でした。
せみ、せみのぬけがら、バッタにカマキリ…
目に留まるが早いか、こどもたちはスワンと網を振る。
やった、つかまえた！
網から器用に、あるいは、やっとこさ、虫を取り出し
カゴに入れる。すると、友だちが集まってきます。
ガラス越しに「あぶらぜみだ、こっちをみてるね」
ひとしきり話がはずんだら、最後は自然にかえします。

ぞんぶんに虫を追い、友と話し、広い園庭を駆け巡り
なんて素敵な、そして平和な、時間なんでしょう。
この日々を少しでも長く守りたい。そう思う８月です。

再び暑さが戻り、子どもたちが部屋に戻ると、園庭には、代わって、たくさんの種類の鳥たちが遊びにやってきます。
そういえば、植えてから 10 年ほど、成長したムクノキがはじめて、今年、少しだけ実をつけました。
ムクの実をついばむから、ムクドリであると聞きました。
子どもたちといつか、ムクドリを見つけられたらと思います。

（つくし保育園園長　つだかずお）